



# 総合教育センターだより



京都府総合教育センターは創立30周年を迎えました



平成22年8月16日(月)  
第17号(通算第100号)  
京都府総合教育センター  
TEL 075-612-3266

## 京都大学と京都府教育委員会の連携事業

# 京の教員特別セミナー「小学校教員理科研修」

7月26日～28日、京都大学大学院農学研究科附属牧場(京丹波町)と府立須知高等学校を会場に「京の教員特別セミナー『小学校教員理科研修』」を実施しました。本講座は、京都大学と京都府教育委員会との連携事業であり、「魅力ある授業を創造する教員研修」として当センター科学技術教育部が運営しました。専門性を磨く、大変意義のある研修となりました。

### 内容 自然を体感！牛に触れる！

1	五感で感じよう(水野哲雄 教授)
日	三葉虫を調べよう(大野照文 教授)
目	生き物の日常を見よう(荒井修亮 准教授)
2	牧場での体験実習(守屋和幸 教授)
日	須知高等学校施設見学
目	
3	理科教材の作成(大野照文 教授)
日	模擬授業と研究協議(守屋 和幸 教授)
目	



2泊3日

### ねらい 理科の楽しさを伝えられる先生に!

- (1)理科の楽しさを味わうとともに、実験に対する基礎的知識の習得を図る。
- (2)京都大学の専門的な研究内容に触れ、「子どもに考えさせる仕掛け」「大自然の様々な現象から感じとることの大切さ」等を学び、授業に活かす。
- (3)宿泊を通し、受講者同士のつながりを深め、互いに協力する中で研修を深める。



### 講義から 自然を探求し、次代に伝承!

- ・(大野教授の講義)三葉虫の化石を観察し元の姿を推理し、討論しながら、答えを探っていく。今までの体験をロジックで貼り付けていくと色々なものが分かる。
- ・(守屋教授の講義)牛は草だけで大きな体を維持できる。その秘密は胃の中の微生物にある。反芻動物として無数の微生物が反芻される草を分解しながら繁殖し、タンパク源となり、命をつないでいる。

### 受講者の感想 探求!発見!感動!

- ・牧場体験など、普段なかなか体験することができないことを多く体験できた。
- ・2泊3日の研修は、とても中身があり、新たな見方や考え方を学べた。
- ・大学教授からの専門的な指導は、大変刺激になり、多くのことを学べた。
- ・驚きや発見を通し、理科の原点に立ち返る機会になった。授業に活かしたい。
- ・他の教師とのつながりも深まった。



# 小学校外国語活動教育局別研修「中核教員フォローアップ講座」!

平成23年度から本格実施される「小学校における外国語活動」の円滑な実施に向け、平成20・21年度に、「中核教員研修」(各校2名)が実施されました。本年度、センターでは、中核教員の更なる指導力の向上と校内研修の充実を図るため、「中核教員フォローアップ講座」を教育局毎に実施しました。



## 内容

- ◆「小学校外国語活動の基本理念」について
- ◆「推進上の課題」について
- ◆DVD「You can do it」の活用
- ◆研究協議「各校の取組、課題の交流」「校内研修の具体的計画作成に向けて」
- ◆指導場面の体験(ゲーム、チャンツ)



## 受講者の感想

何をめあてにした授業で、どこを達成すればよいか、そのためにどこを工夫すればよいか等、よく理解できた。研修したゲームやチャンツも活用したい。

研修方法について頭を悩ましていたので、今日の研究協議は大変役に立った。各校の研修内容を交流し、改善の必要を感じた。授業の進め方や機器の使い方など、再考していきたい。

校内研修の進め方について本校の実態に応じた具体的な方法やアイデアを得られた。

※全ての小学校教員が自信をもって指導にあたるよう、平成20年度から実施している全小学校教員を対象にした「小学校外国語活動教育局別研修」は、本年度(3年目)で完了します。

# 人権学習のより一層の充実のために!

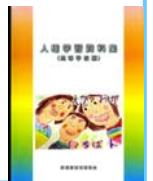
各学校では、人権意識の高揚及び人権問題の解決に向けた態度・技能・能力の育成に向けてあらゆる教育活動を通じて人権教育を推進することが求められています。

そのためには、まず、教職員自らが豊かな人権意識を持ち、人権教育に関する知識・技能を向上させることが重要です。

センターでは、人権教育を進めていくための認識の深化と指導力の向上を図るため、毎年、「人権教育講座」(本年度は、センター10月18日、北部10月25日)を実施しています。

昨年度末、「人権学習資料集<高等学校編>(京都府教育委員会)が発行されたことで、小学校から高等学校までの人権学習資料集が揃いました。センターでも小学校編から作成に関わり、人権教育関係の講座の中で活用方法について研修を行ってきました。

7月に実施した初任者研修「人権教育」講座でも、「他校種の資料集にも目を通すことで、人権学習の進め方がより深く理解できた」という感想が多くありました。



## センターからの一言

目の覚めるような人がいる。その道を“極めた人”である。  
心が洗われるような言葉がある。その道を“極めた言葉”である。  
そんな“至高の人”に接し、“珠玉の言葉”に触れたい。

ばんきん

万鈞の重みを全身で!

